

- 1 日時 平成30年1月24日(水)午後6時～7時
- 2 場所 市民ホール谷田部2階会議室
- 3 出席者 都市計画部部长, 次長, 都市計画課長, 公共施設跡地利用室長, 室員 2名
- 4 参加者 20名
- 5 内容
 - (1) 開会
 - (2) 職員紹介
 - (3) 調査結果
 - (1) 庁内利活用意向調査の結果について
 - (2) サウンディング型市場調査の結果について
 - (1) (2)について、別紙説明会資料及び実施結果一覧を用いて、説明した。
 - (4) 意見交換 (●:参加者, ○:市)
 - 合同庁舎建設の提案にある税務署を誘致してほしい。バスロータリーは残してほしい。谷田部庁舎周辺は保育所が不足しており、遠くへ預けている。介護施設は必要ない。
 - 大型バスが利用できるロータリーは貴重で、バス旅行のピックアップ地として利用している。
 - 跡地利用の検討にあたっては、交通の観点も入れてほしい。
⇒○サウンディング型市場調査実施要領にもバスロータリー機能を残した提案をするよう記載している。バスロータリー機能は担当課からも残すよう言われている。
 - アッセもテナントが減り寂しい状態、つくば駅の西武も撤退する状況である。商業施設を作っても同様になっては仕方ない。集客について工夫してほしい。
⇒○事業収支が成り立つのか事業者に直接聞いた際には、商圈として成り立つとの答えであった。
 - 市営プールが使われていない状態である。水中歩行などができる環境が近くにほしい。商業施設建設と地元商店街が競合しないようにしてほしい。
 - 子どもから高齢者までを含む市民のことを考えて、都市計画をつくると思うが、谷田部庁舎周辺の商店街は、シャッター街化と後継者不足で活性化しない。運動施設は充実しているが利用率はどうか分からない。周辺の30～50代がどう考えているのか、60代のために何を考えるのか。庁舎周辺施設全体の再構築の勉強会を地元で行っている。
 - 都市開発により発展するよう、先進地視察や勉強をしてほしい。
 - 私自身も谷田部の中心地をどうしたいという思い“地元の声”を把握しき

れていない。地区それぞれ思いも異なるが各区会で跡地利用への考えを深めてほしい。市には、繰り返し地元説明会を開催するなどお願いしたい。

⇒○跡地利活用方策を検討するうえでのメニュー出し、出発点として、サウンディング型市場調査を実施し、本日結果説明会を開催した。現時点で、市として事業を決定しているわけではない。地元の意見を聞きながら、地元に必要なものを検討していきたい。

- 区会の意見が地元の意見ではない。会社をやっている方もいる。サウンディング型市場調査をやったことや、本日の結果説明会が開催されることも数日前に聞いた。市の事業を進めるのに情報周知を控えているのではないか。HPでの周知も1/12になっている。

⇒○サウンディング型市場調査実施の周知は、対象とする事業者に情報が届くよう尽力したが、地元にも広報するよう意識していく。

⇒●情報拡散もHPだけでは、見に来る人しか知りえない。メルマガやSNSを利用した情報発信する体制を整えるよう要望したい。

- 結果説明会を実施していることも知らない方もいるかもしれない。市民の意見を聞く機会をどう作っていくのか。複数回の開催が必要ではないか。

(5) 閉会